

---

【プレゼンテーション資料】

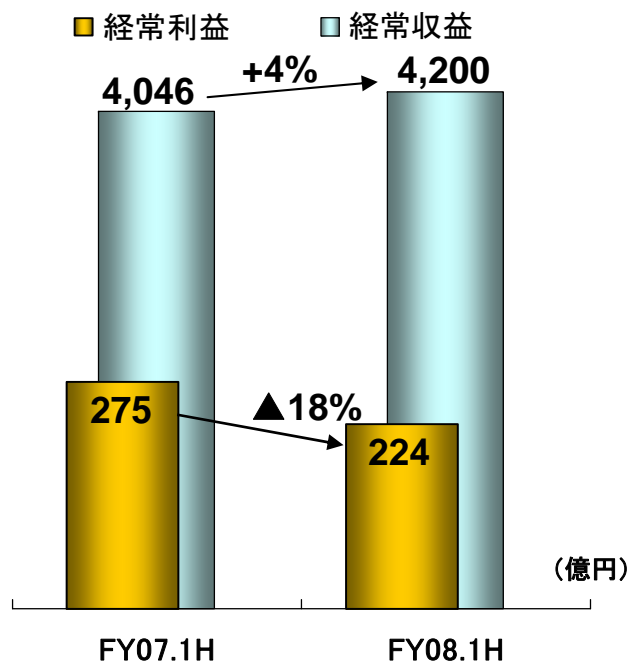
# 2008年9月中間期 連結業績のご説明

ソニーフィナンシャルホールディングス株式会社  
2008年11月17日

**免責事項:**

このプレゼンテーション資料に記載されている、当社グループの現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しです。将来の業績に関する見通しは、将来の営業活動や業績、出来事・状況などに関する説明における「確信」、「期待」、「計画」、「戦略」、「見込み」、「予測」、「予想」、「可能性」やその類義語を用いたものに限定されません。口頭または書面による見通し情報は、現在入手可能な情報から得られた当社グループの経営者の判断にもとづいています。実際の業績は、様々なリスクや不確実な要素により、これら業績見通しと大きく異なる結果となりうるため、これら業績見通しに依拠することは控えるようお願いします。また、新たな情報、将来の事象、その他の結果にかかわらず、常に当社グループが将来の見通しを見直すとは限りません。また、このプレゼンテーション資料は日本国内外を問わず一切の投資勧誘またはそれに類する行為のために作成されたものではありません。

# 連結業績ハイライト



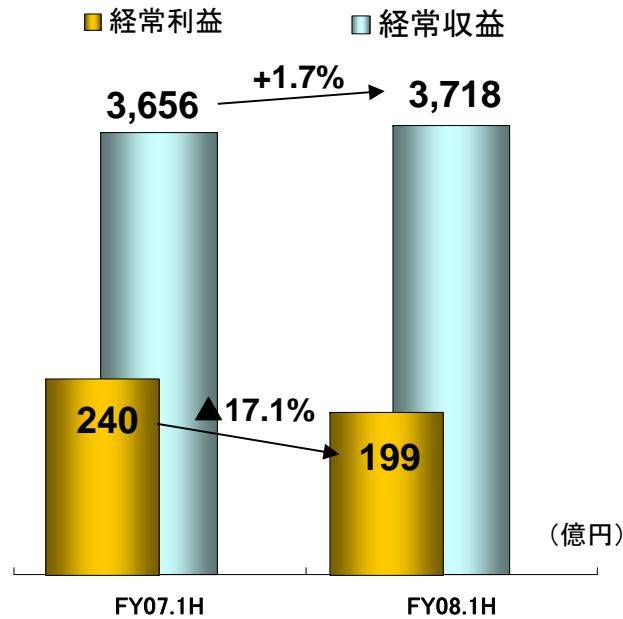
	(億円)	FY07.1H	FY08.1H	前年同期比	
				増減額	増減率
生命保険事業	経常収益	3,657	<b>3,721</b>	+63	+2%
	経常利益	240	<b>200</b>	▲39	▲16%
損害保険事業	経常収益	277	<b>307</b>	+29	+11%
	経常利益	20	<b>11</b>	▲8	▲42%
銀行事業	経常収益	115	<b>177</b>	+61	+53%
	経常利益	14	<b>11</b>	▲3	▲22%
全社または消去	経常収益	▲4	<b>▲5</b>	▲1	-
	経常利益	0	<b>0</b>	+0	+66%
SFHG連結	経常収益	4,046	<b>4,200</b>	+153	+4%
	経常利益	275	<b>224</b>	▲50	▲18%

金額は単位未満切捨て、増減率は四捨五入で表示

# 連結業績ハイライト

- 生命保険事業では、保有契約高・新契約高(個人保険+個人年金保険)ともに増加。保険料等収入の増加により経常収益は増加したが、保険金等支払金や事業費の増加、資産運用損益の悪化などにより経常利益は減少。
- 損害保険事業では、保険料収入の増加により経常収益は増加したものの、システム関連費用を主とした事業費の増加および自然災害による支払保険金の増加等により経常利益は減少。
- 銀行事業では、業容の拡大にともなう運用資産残高の増加などにより経常収益は増加。資金調達費用の増加、システム関連費用を中心とした営業経費の増加および、のれん代償却により経常利益は減少。
- 連結ベースでは、経常収益は3事業の増収にともない前年同期比153億円(4%)増加の4,200億円。経常利益は、前年同期比50億円減少(▲18%)の224億円。中間純利益は、経常利益の減少により前年同期比45億円減少(▲27%)の121億円。

# ソニー生命 業績ハイライト(単体)



## 【ソニー生命】

- ◆前年同期比 増収減益
- ◆新契約高は前年同期比0.8%増加
- ◆保有契約高の堅調推移により保険料等収入が増加
- ◆基礎利益は165億円
- ◆解約・失効率は前年同期比0.1pt上昇の3.11%

\*1) 保有契約高、保有契約年換算保険料、解約・失効率、新契約高、新契約年換算保険料は、個人保険と個人年金保険の合計です。  
 \*2) 解約・失効率は、復活契約を失効と相殺せずに算出しています。

	(億円)	FY07.1H	FY08.1H	前年同期比	
				増減	増減率
経常収益		3,656	3,718	+61	+1.7%
保険料等収入		3,185	3,270	+85	+2.7%
資産運用収益		447	432	▲14	▲3.2%
経常費用		3,415	3,518	+102	+3.0%
保険金等支払金		1,174	1,258	+83	+7.1%
責任準備金等繰入額		1,646	1,408	▲238	▲14.5%
資産運用費用		90	329	+239	+264.9%
事業費		456	468	+11	+2.6%
経常利益		240	199	▲41	▲17.1%
中間純利益		130	108	▲22	▲17.0%

	(億円)	07.9末	08.3末	08.9末	対前年度末比	
					増減	増減率
有価証券残高		24,109	23,889	24,490	+600	+2.5%
責任準備金残高		32,535	33,750	35,148	+1,397	+4.1%
純資産額		2,289	1,826	1,351	▲475	▲26.0%
その他有価証券評価差額金		1,344	827	213	▲614	▲74.2%
総資産額		36,071	36,597	37,853	+1,255	+3.4%
特別勘定資産		3,470	3,217	3,100	▲117	▲3.7%

注) 上記数値は単体ベース

金額は億円未満切捨て、増減率は四捨五入で表示

# ソニー生命 主要業績指標(単体)



(単位: 億円)

	2007年度中間期	2008年度中間期	増減率
新契約高*1	18,793	18,947	+ 0.8%
新契約年換算保険料*1	312	309	▲0.9%
うち第三分野	65	65	▲1.2%
保険料等収入	3,185	3,270	+2.7%
資産運用損益	357	103	▲71.1%
基礎利益	139	165	+18.5%
実質純資産額	6,750	5,446	▲19.3%
逆ざや額	144	106	▲26.4%
解約・失効率*1,*2	3.01%	3.11%	+0.1pt

(億円)	07.9末	08.3末	08.9末	対前年同期末比	
				増減額	増減率
保有契約高*1	308,787	314,973	320,654	11,867	+3.8%
保有契約年換算保険料*1	5,174	5,300	5,409	234	+4.5%
うち第三分野	1,205	1,228	1,245	40	+3.4%
ソルベンシー・マージン比率	1,870.0%	1,747.9%	1,665.4%	-	▲204.6pt

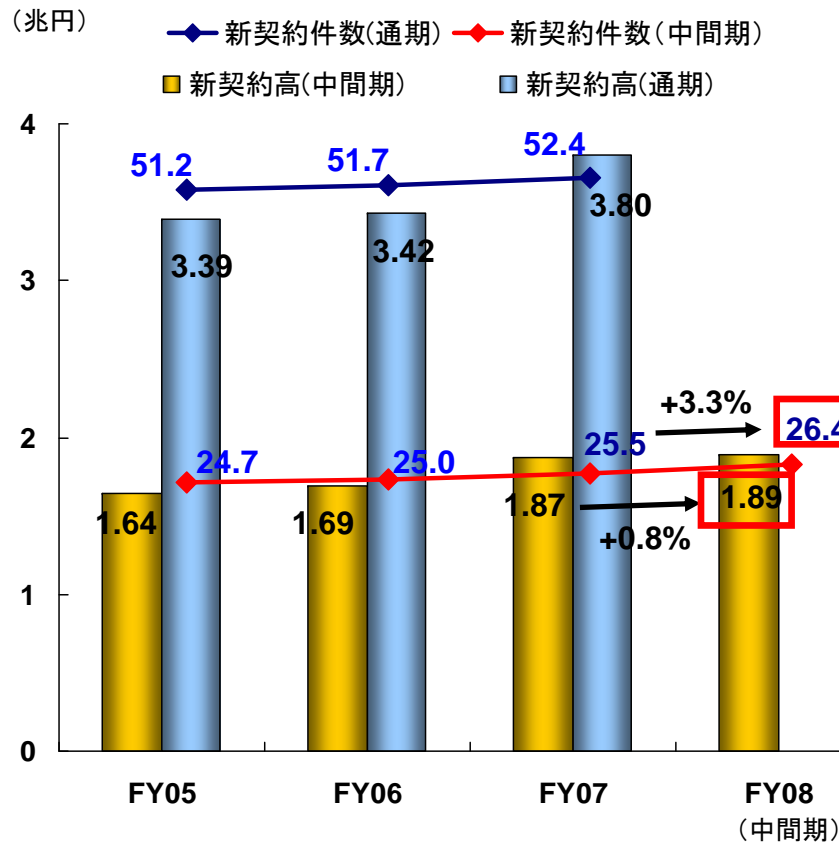
\*1) 保有契約高、保有契約年換算保険料、解約・失効率、新契約高、新契約年換算保険料は、個人保険と個人年金保険の合計です。

\*2) 解約・失効率は、復活契約を失効と相殺せずに算出しています。

金額は億円未満切捨て、増減率は四捨五入で表示

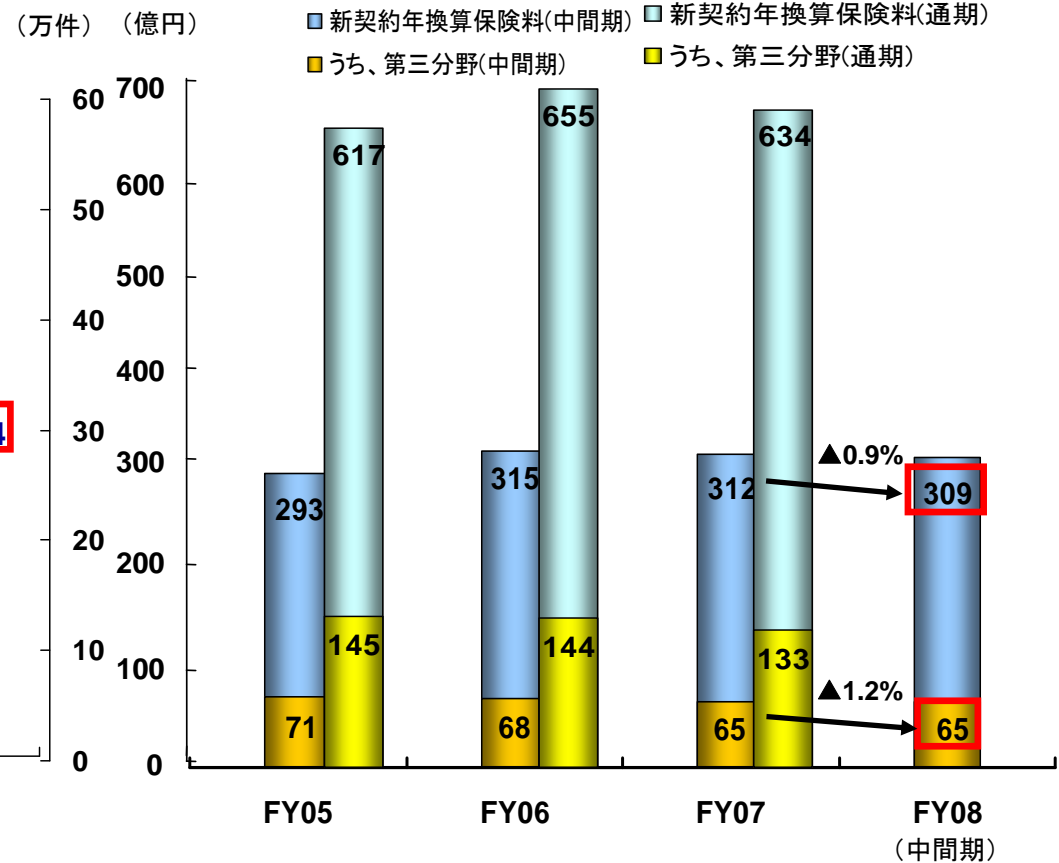
# ソニー生命の業績(1)

## 新契約高・件数 (個人保険+個人年金保険)



金額は百億円未満切捨て、件数は千件未満切捨て、増減率は四捨五入で表示

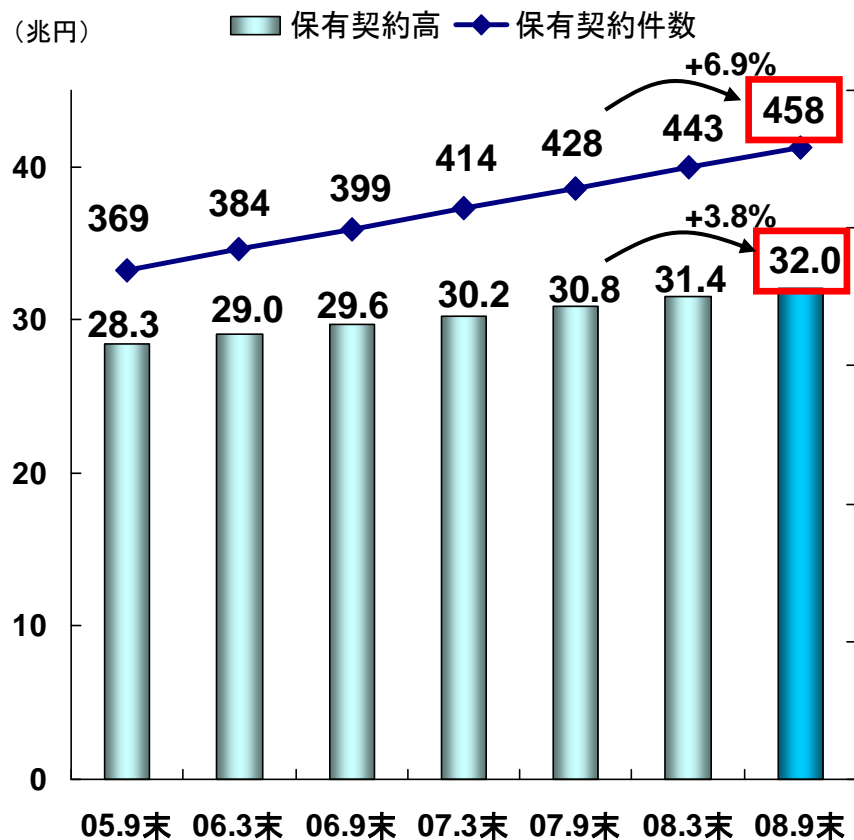
## 新契約年換算保険料(個人保険+個人年金保険)



金額は億円未満切捨て、増減率は四捨五入で表示

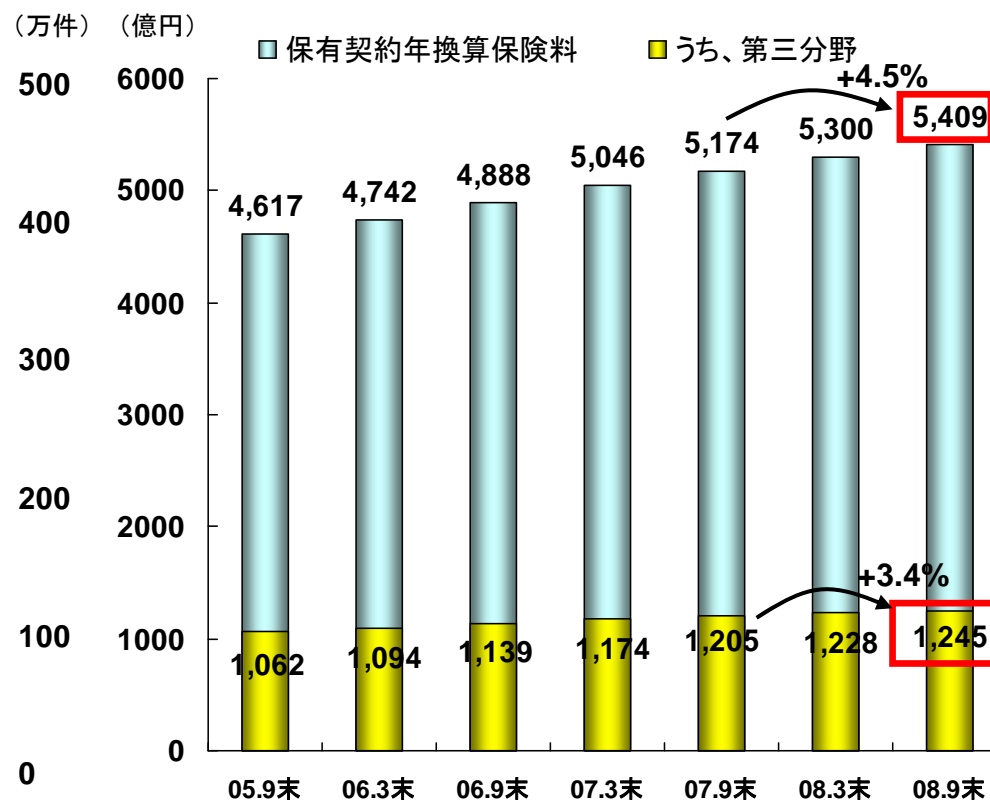
# ソニー生命の業績(2)

## 保有契約高・件数 (個人保険+個人年金保険)



金額は千億円未満切捨て、件数は万件未満切捨て、増減率は四捨五入で表示

## 保有契約年換算保険料(個人保険+個人年金保険)

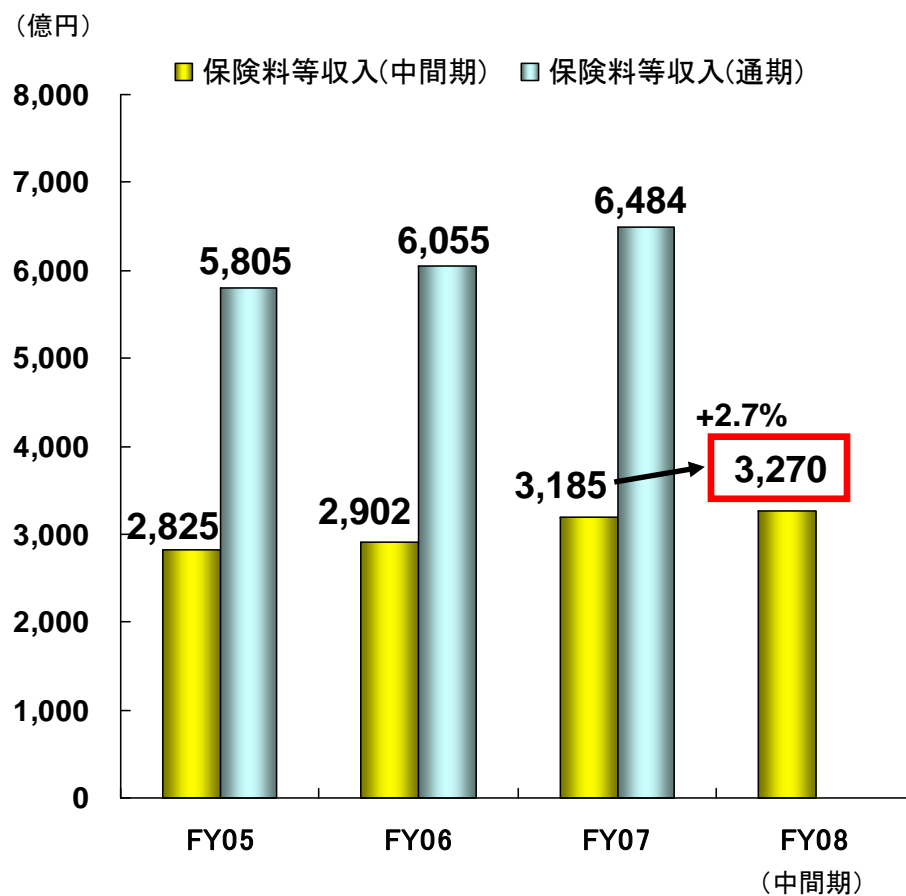


金額は億円未満切捨て、増減率は四捨五入で表示



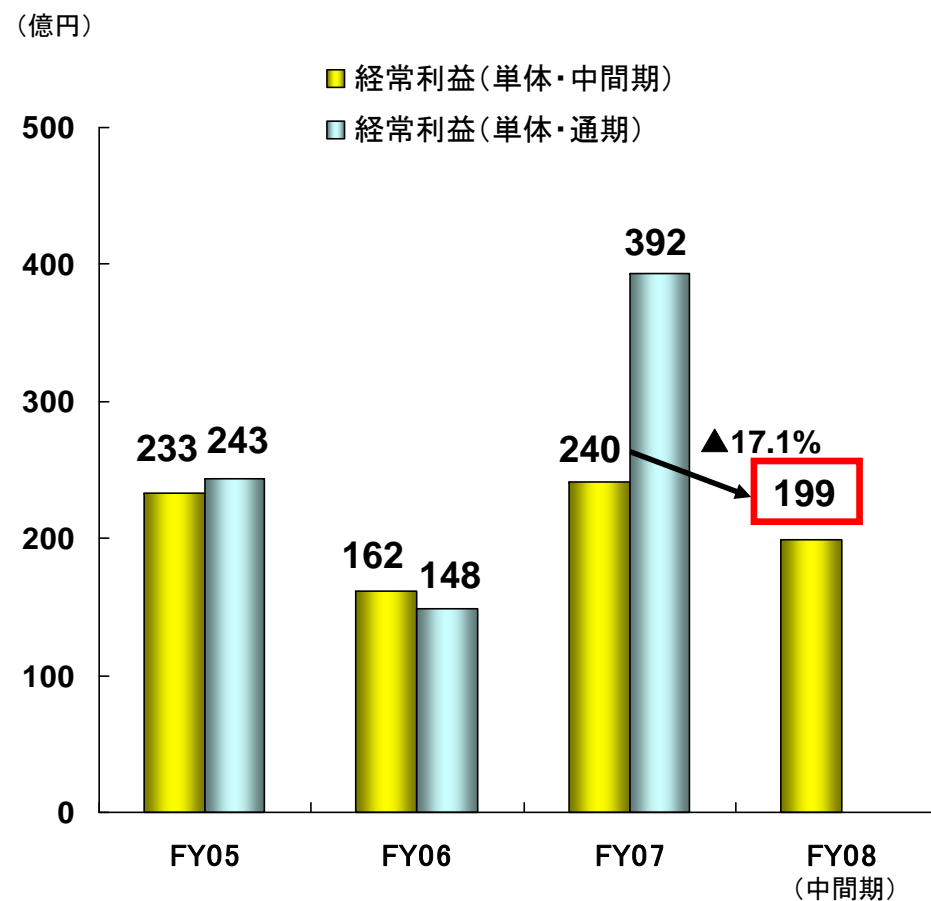
# ソニー生命の業績(3)

## 保険料等収入



金額は億円未満切捨て、増減率は四捨五入で表示

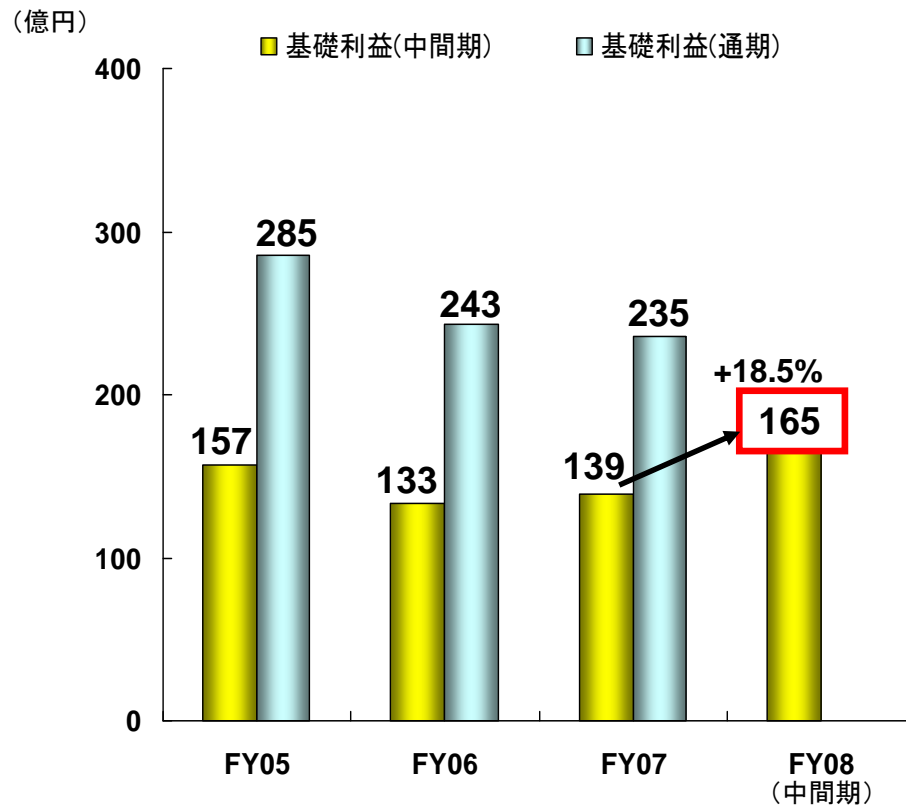
## 経常利益(単体)



金額は億円未満切捨て、増減率は四捨五入で表示

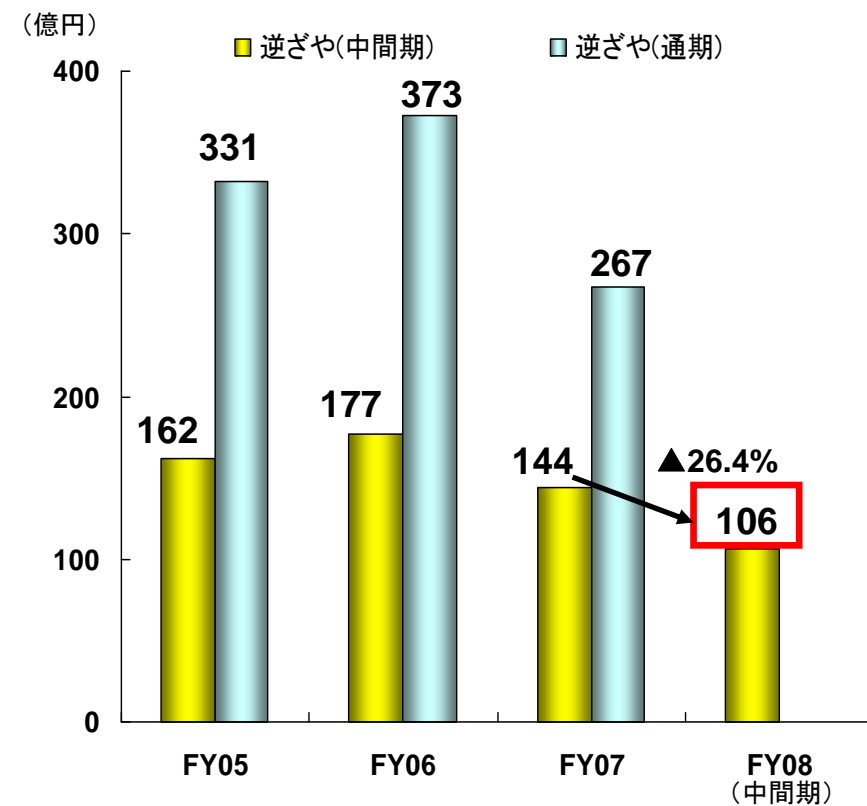
# ソニー生命の業績(4)

## 基礎利益



金額は億円未満切捨て、増減率は四捨五入で表示

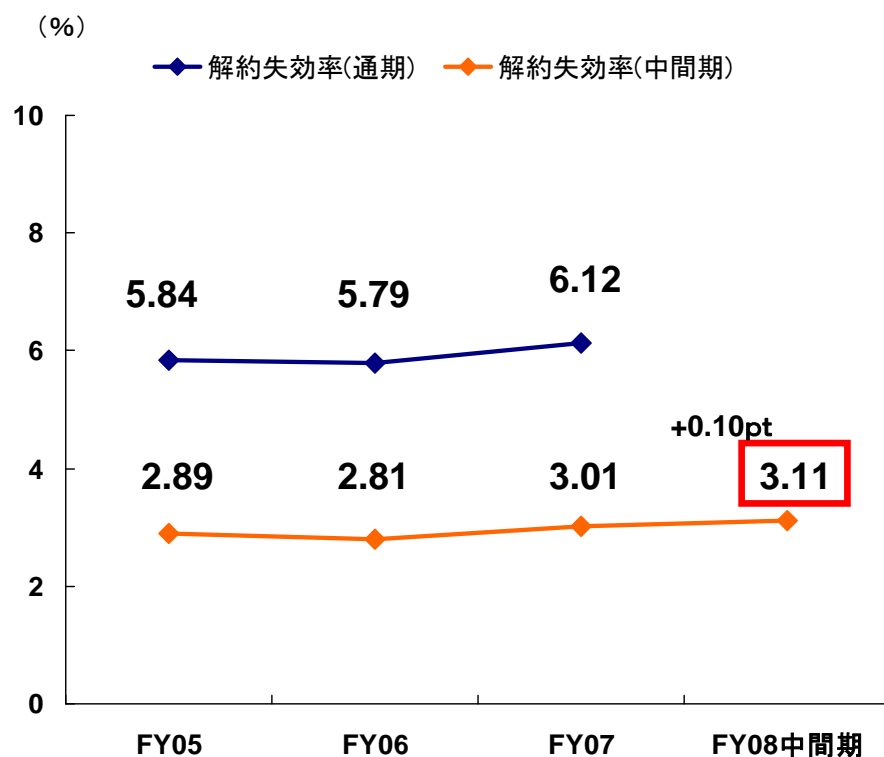
## 逆ざや額



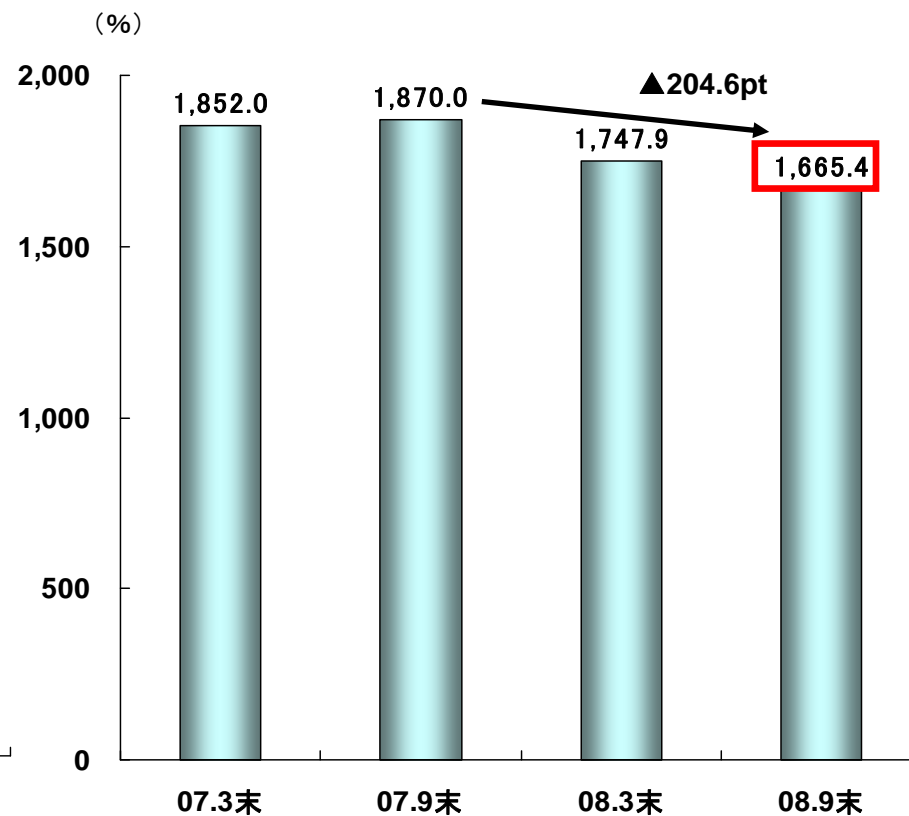
金額は億円未満切捨て、増減率は四捨五入で表示

# ソニー生命の業績(5)

## 解約・失効率\* (個人保険+個人年金保険)



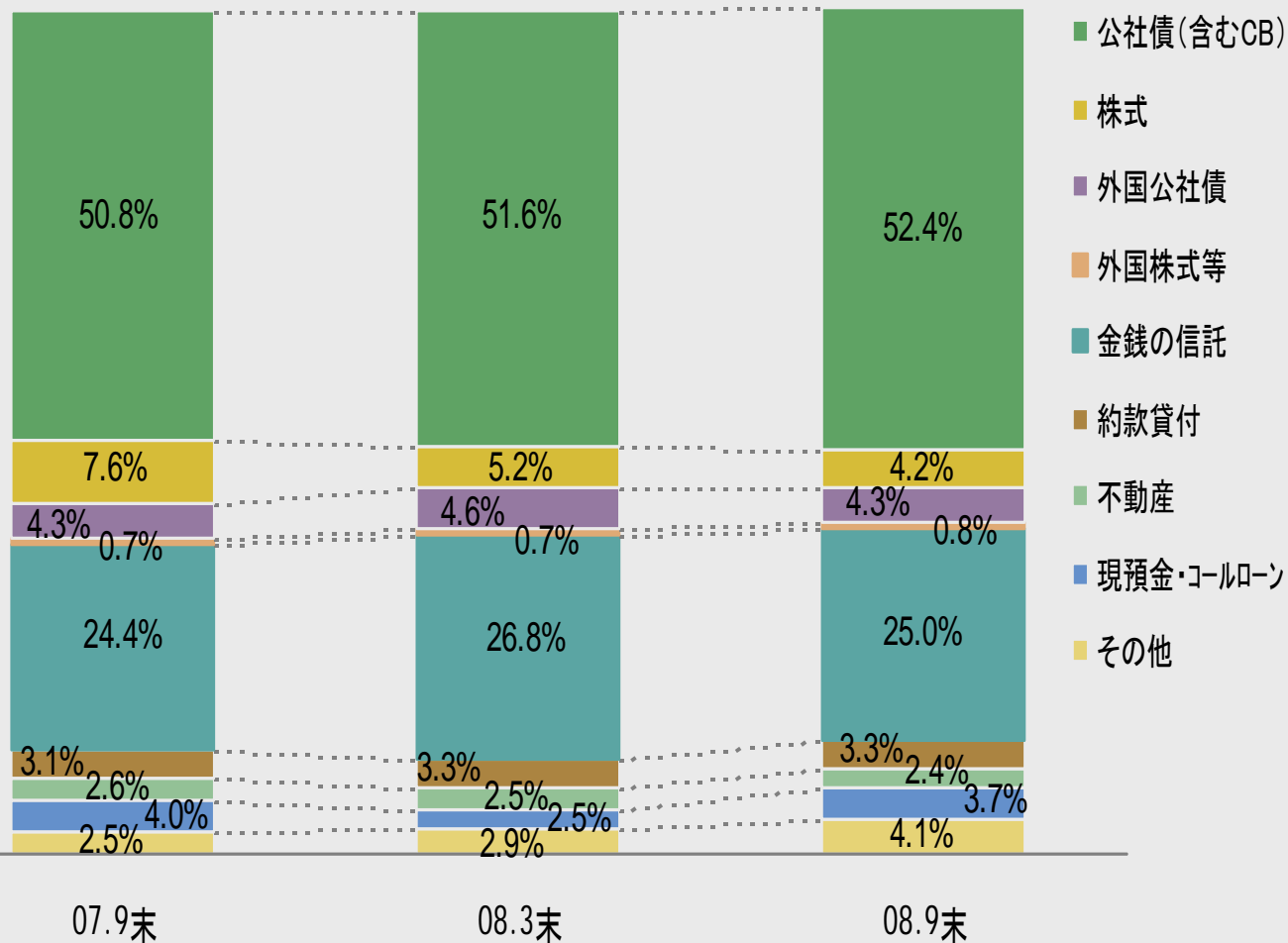
## ソルベンシー・マージン比率



\*解約・失効率は、復活契約を失効と相殺せずに算出した数値です。

# ソニー生命の業績(6)

## 一般勘定資産の内訳



### 【参考】

一般勘定資産の内訳につき、国内株式および転換社債の2008年9月末残高は下記のとおり。

※( )内数値は08.3末ベース

国内株式: 1,739億円(2,062億円)うち

金銭の信託に含まれる国内

株式、284億円(333億円)

一般勘定構成比は5.0%

(6.2%)

転換社債: 3,992億円(4,270億円)うち

金銭の信託に含まれる転換

社債、1,367億円(1,394億

円)

一般勘定構成比は11.5%

(12.8%)

合計  
(億円)

32,601

33,379

34,753

# ソニー生命の業績(7)

## 時価のあるその他有価証券の差損益

(億円)	08. 3末	08. 6末	08. 9末
公社債	834	286	<b>190</b>
うちCB	92	84	<b>▲195</b>
株式	508	632	<b>241</b>
外国証券	<b>▲95</b>	<b>▲58</b>	<b>▲121</b>
その他証券	30	38	<b>19</b>
合計	1,278	898	<b>330</b>

金額は億円未満切捨て

※金銭の信託に含まれているものも含む。

※当中間期末の公社債190億円は、満期保有目的有価証券の含み益29億円は含まず。

## 【ご参考】

10月29日決算速報のお知らせ「ご参考」資料より

(億円)	2008年10月24日時点の 評価損益 (試算値)
その他有価証券	<b>▲396</b>
国内株式	<b>▲228</b>
CB等	<b>▲286</b>
株式関連デリバ ティブ取引	<b>136</b>

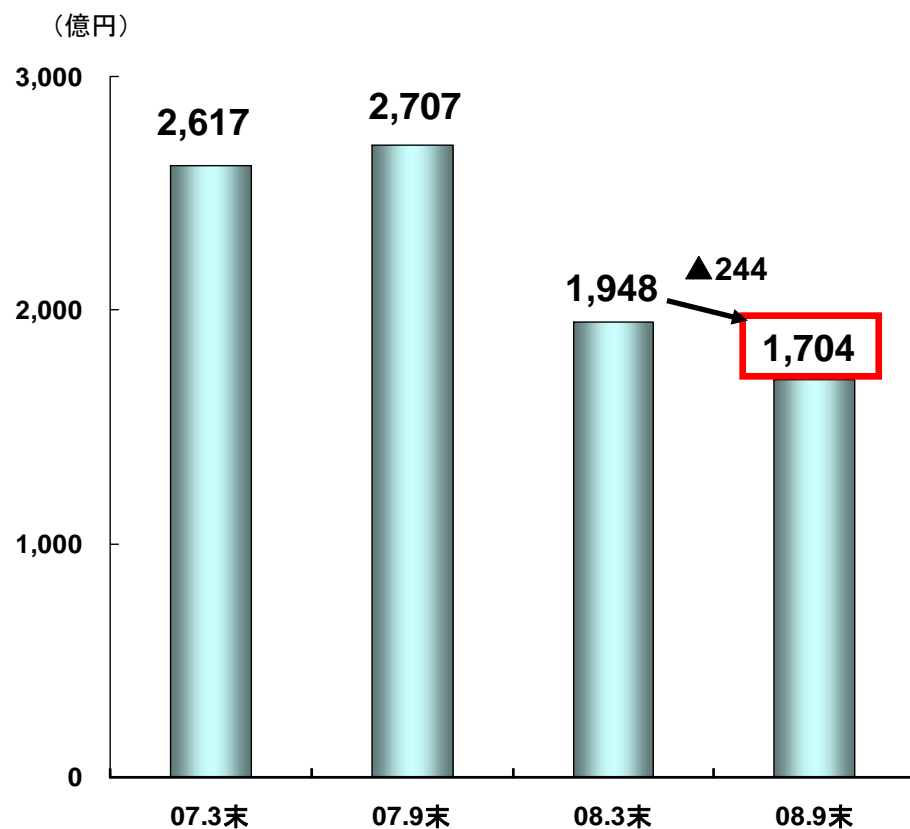
注1) その他有価証券の評価損は〔時価－簿価〕で算出したものであり、財務諸表上の「その他有価証券評価差額金」とは異なります。

注2) 平成20年10月24日時点でソニー生命が保有する新株予約権付社債(CB)の加重平均時価は91.9円です。

注3) 株式関連デリバティブ取引は、平成20年10月以降、ソニー生命の保有する国内株式および新株予約権付社債(CB)の価格下落リスクに備えるヘッジ目的で行った取引です。

# ソニー生命の業績(8)

## エンベディッド・バリュー(EV)上の修正純資産



金額は億円未満切捨て

### (EV上の修正純資産の計算式)

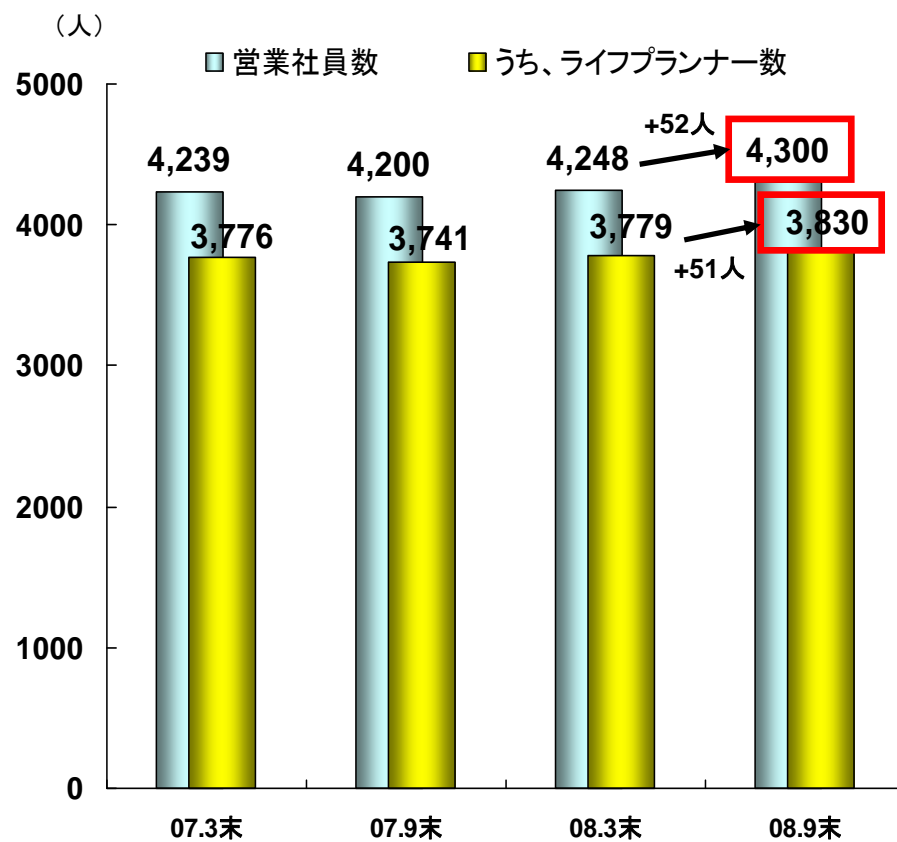
修正純資産＝  
貸借対照表の純資産の部合計  
(CB等以外の債券の評価差額金を除く)  
＋価格変動準備金  
＋危険準備金  
＋一般貸倒引当金  
＋土地の含み損益  
－退職給付の未積立債務  
－前5項に係る税効果相当額

### (EVとは・・・)

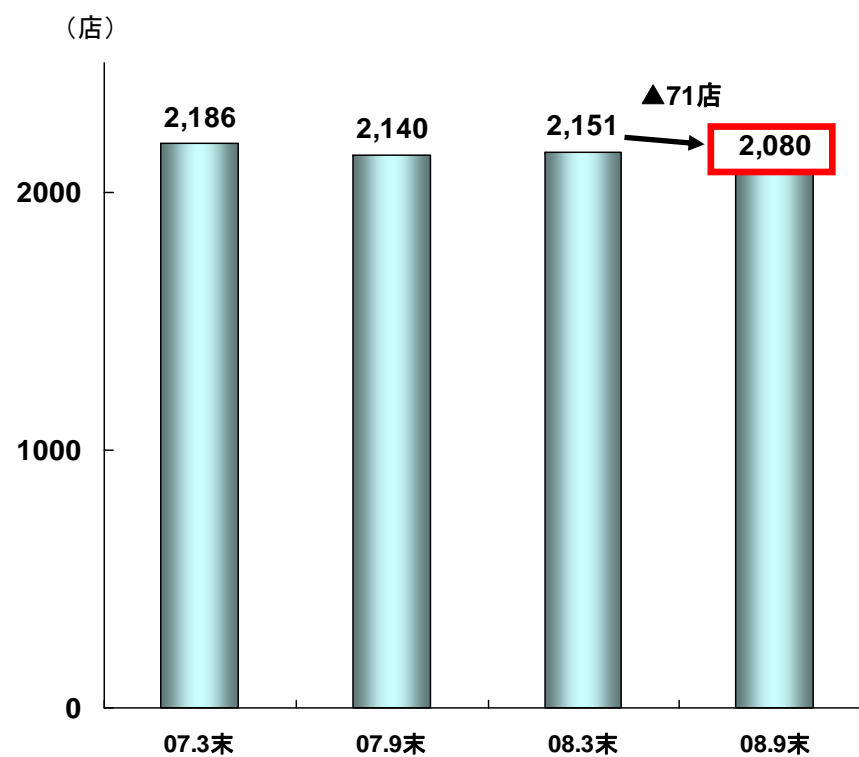
上記の「修正純資産」に加えて、保有契約の将来利益の現在価値を示す「保有契約の価値」から構成され、生命保険株式会社の企業価値を評価する指標の一つとされています。

# ソニー生命の業績(9)

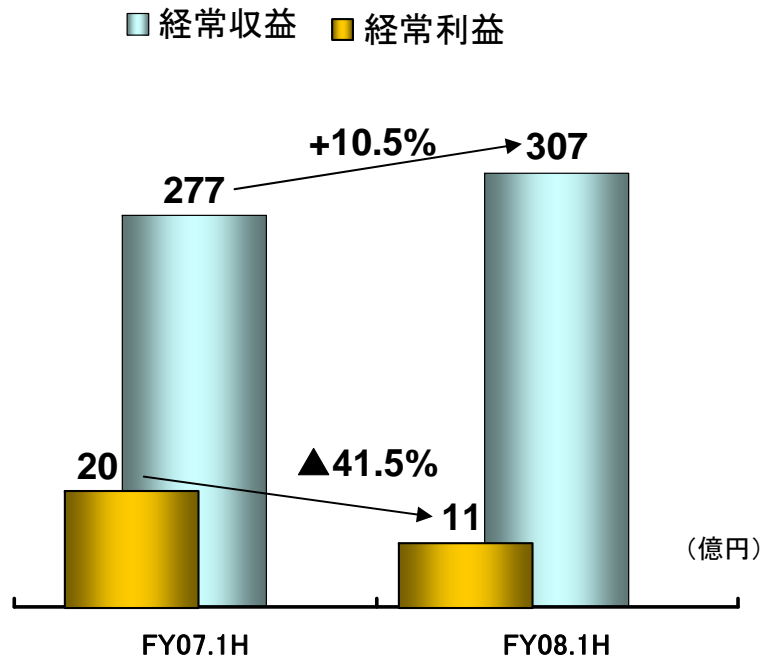
## 営業社員およびライフプランナー在籍数



## 代理店数



# ソニー損保 業績ハイライト



## 【ソニー損保】

- ◆ 前年同期比増収減益
- ◆ 主力の自動車保険の契約件数の増加により正味収入保険料は303億円
- ◆ 事業費の増加、自然災害による支払保険金の増加などにより経常利益は8億円減少
- ◆ コンバインド・レシオは、2.2ポイント上昇の78.6%

(億円)	FY07.1H	FY08.1H	
		前年同期比	増減
経常収益	277	307	+29 +10.5%
保険引受収益	274	303	+28 +10.5%
資産運用収益	2	3	+0 +12.3%
経常費用	257	295	+37 +14.6%
保険引受費用	192	220	+28 +14.8%
資産運用費用	0	0	+0 +330.7%
営業費及び一般管理費	65	74	+9 +14.0%
経常利益	20	11	▲8 ▲41.5%
中間純利益	19	6	▲12 ▲64.3%

(億円)	07.9末	08.3末	08.9末	前年度末比	
責任準備金残高	396	427	472	+45	+10.7%
純資産額	152	153	159	+5	+3.6%
その他有価証券評価差額金	▲0	▲0	▲1	▲1	-
総資産額	734	786	843	+56	+7.2%

金額は億円未満切捨て、増減率は四捨五入で表示



# ソニー損保 主要業績指標



(単位: 億円)

	2007年度中間期	2008年度中間期	増減率
元受正味保険料	273	301	+10.5%
正味収入保険料	274	303	+10.5%
正味支払保険金	124	141	+13.2%
正味損害率	51.1%	52.4%	+1.3pt
正味事業費率	25.3%	26.2%	+0.9pt
コンバインド・レシオ	76.4%	78.6%	+2.2pt

	07. 9末	08. 3末	08. 9末	対前年同期末比	
				増減数	増減率
保有契約件数	97万件	102万件	108万件	+11万件	+11.3%
ソルベンシー・マージン比率	1,067.7%	1,073.9%	1,096.5%	-	+28.8pt

※正味事業費率＝保険引受に係る事業費÷正味収入保険料  
 ※正味損害率＝(正味支払保険金＋損害調査費)÷正味収入保険料  
 ※保有契約件数は、自動車保険とガン重点医療保険の合算値  
 万件未満切捨て  
 両方で正味収入保険料の98%以上を占める

金額は億円未満切捨て、増減率は四捨五入で表示

# ソニー損保 種目別保険引受の状況



(単位:百万円)

## 正味収入保険料

	2007年度 中間期	2008年度 中間期	増減率
火災	7	8	+4.4%
海上	22	19	▲11.1%
傷害	3,183	3,430	+7.8%
自動車	23,966	26,628	+11.1%
自賠責	284	265	▲6.6%
合計	27,464	30,351	+10.5%

## 元受正味保険料

	2007年度 中間期	2008年度 中間期	増減率
火災	132	165	+24.7%
海上	-	-	-
傷害	3,116	3,284	+5.4%
自動車	24,070	26,731	+11.1%
自賠責	-	-	-
合計	27,319	30,181	+10.5%

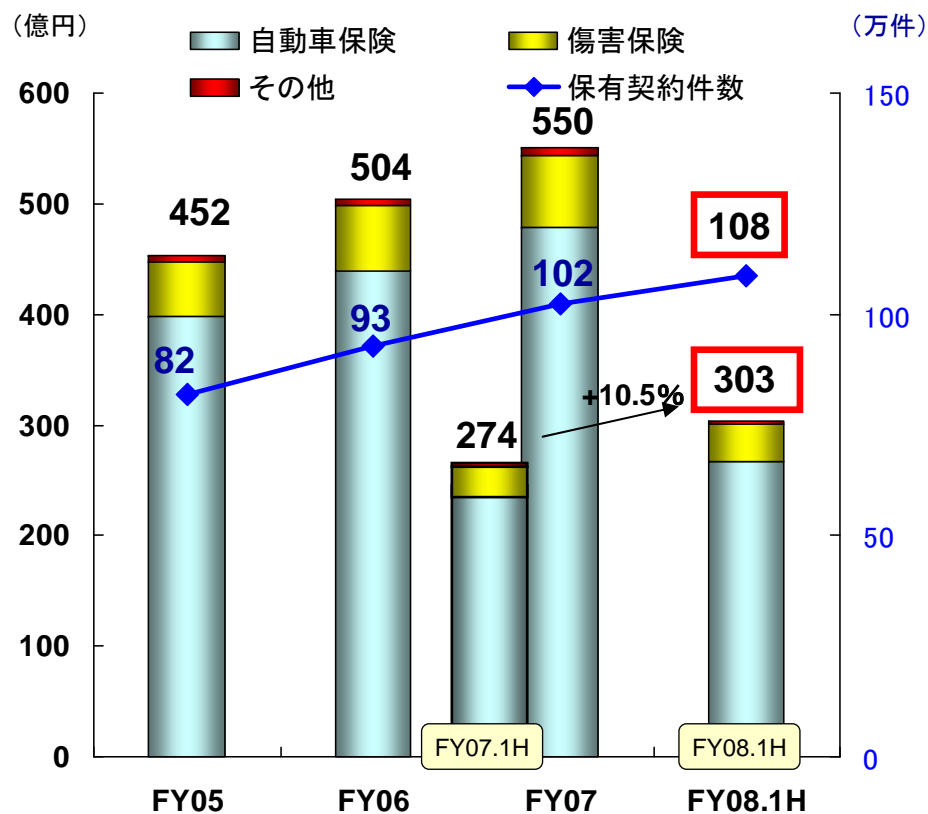
## 正味支払保険金

	2007年度 中間期	2008年度 中間期	増減率
火災	0	0	▲50.3%
海上	10	8	▲18.0%
傷害	568	619	+9.0%
自動車	11,681	13,256	+13.5%
自賠責	217	239	+10.2%
合計	12,478	14,124	+13.2%

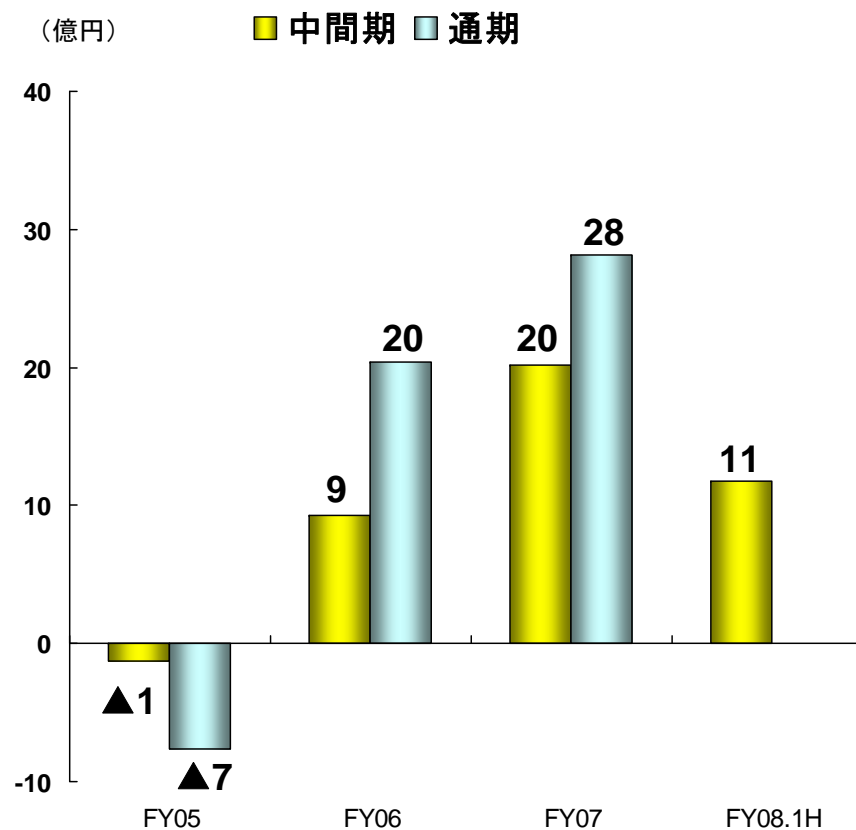
金額は百万円未満切捨て、増減率は四捨五入で表示

# ソニー損保の業績(1)

## 正味収入保険料と保有契約件数



## 経常利益(損失)



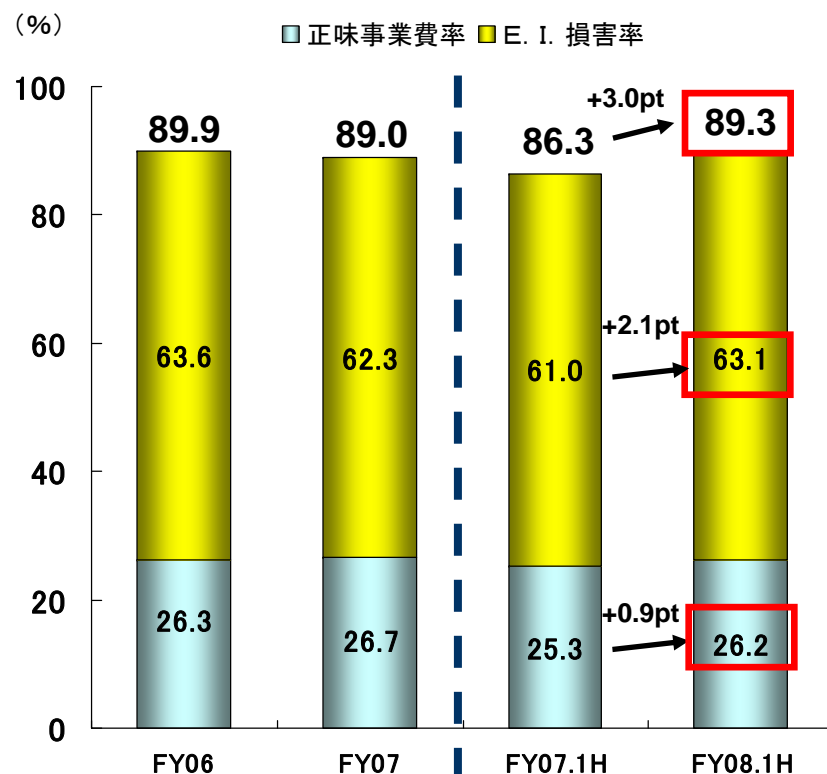
保有契約件数は、自動車保険とガン重点医療保険の合算値。両方で正味収入保険料の98%以上を占める。傷害保険のほとんどが、ガン重点医療保険である。

金額は億円未満切捨て、件数は万件未満切捨て

金額は億円未満切捨て

# ソニー損保の業績(2)

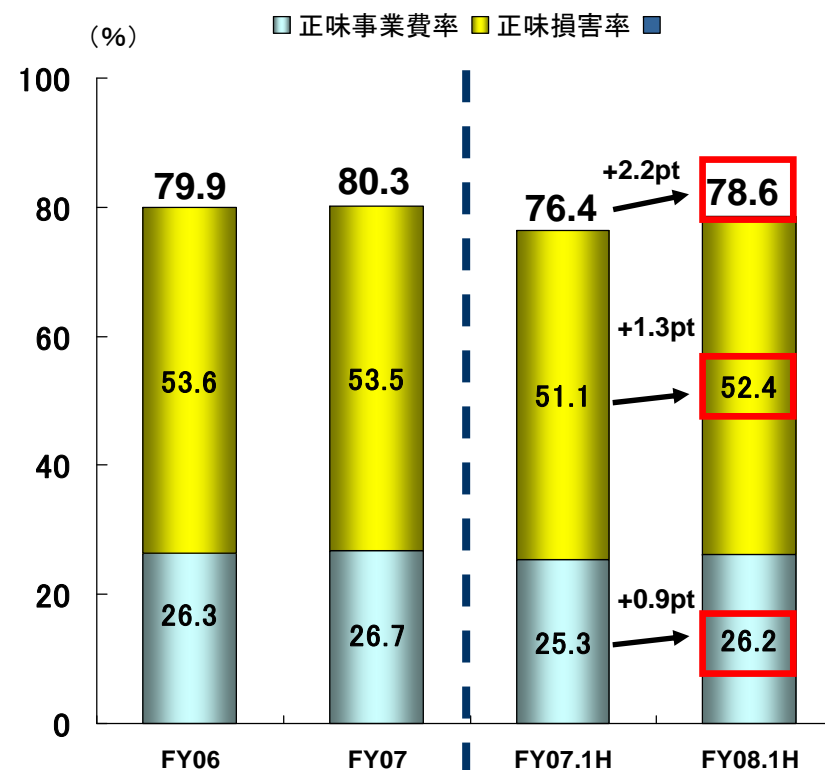
## 正味事業費率+E.I.損害率



正味事業費率=保険引受に係る事業費÷正味収入保険料  
 E.I.損害率=(正味支払保険金+支払備金積増額+損害調査費)÷既経過保険料  
 ※除く地震保険、自賠責保険

## <参考>

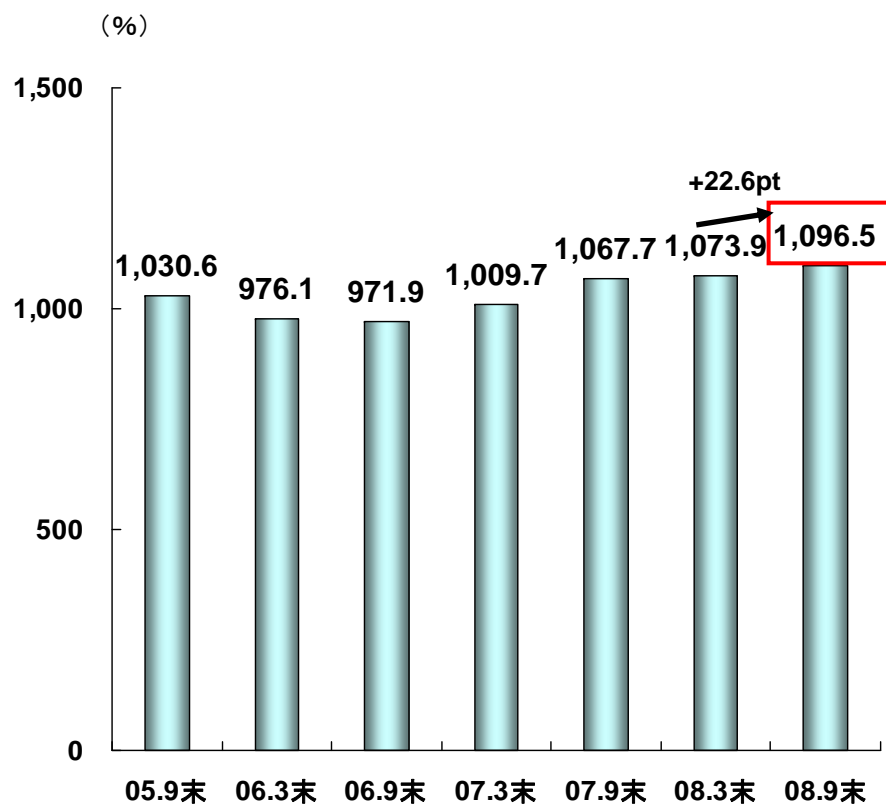
## コンバインド・レシオ (正味事業費率+正味損害率)



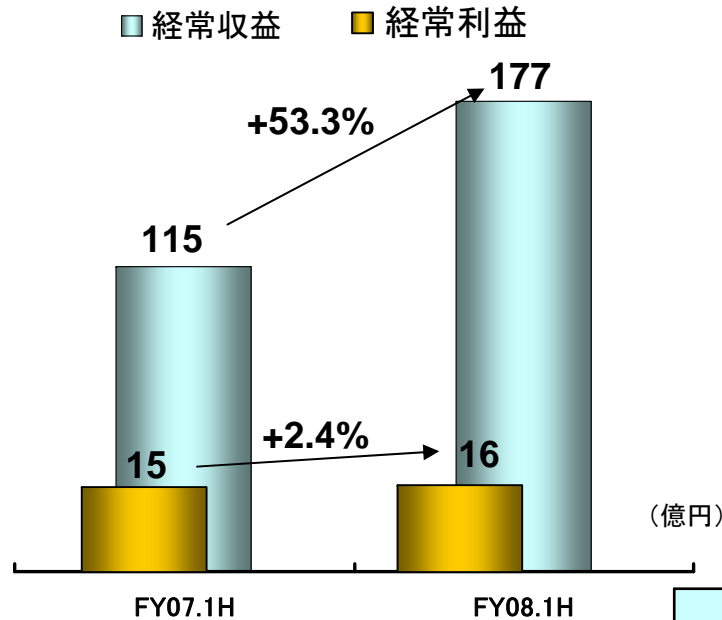
正味事業費率=保険引受に係る事業費÷正味収入保険料  
 正味損害率=(正味支払保険金+損害調査費)÷正味収入保険料

# ソニー損保の業績(3)

## ソルベンシー・マージン比率



# ソニー銀行 業績ハイライト(単体)



(億円)	FY07.1H	FY08.1H	
		金額	前年同期比
経常収益	115	177	+61 +53.3%
業務粗利益	54	66	+11 +20.7%
資金運用収支	24	21	▲3 ▲14.6%
役務取引等収支	3	1	▲2 ▲67.1%
その他業務収支	26	43	+17 +63.6%
営業経費	38	49	+10 +27.0%
経常利益	15	16	+1 +2.4%
中間純利益	20	9	▲11 ▲53.6%

## 【ソニー銀行】

- ◆ 前年同期比 増収増益
- ◆ 業務粗利益はその他業務収支の増加により拡大
- ◆ 中間純利益は、前年同期において繰延税金資産の積み増しがあったことから減少
- ◆ 預り資産残高は1兆4,331億円、貸出残高は4,000億円を達成

(億円)	07. 9末	08. 3末	08. 9末	対前年度末比	
有価証券残高	3,483	4,887	6,673	+1,785	+36.5%
貸出金残高	3,191	3,470	4,000	+529	+15.3%
預金残高	8,884	11,443	13,382	+1,938	+16.9%
預り資産残高	10,060	12,473	14,331	+1,858	+14.9%
純資産額	382	357	366	+9	+2.6%
その他有価証券評価差額金	▲51	▲90	▲156	▲65	-
総資産額	9,661	12,110	14,231	+2,121	+17.5%
自己資本比率(国内基準)	10.94%	9.15%	8.88%	▲0.27pt	

金額は億円未満切捨て、増減率は四捨五入で表示

# ソニー銀行 主要業績指標(単体)



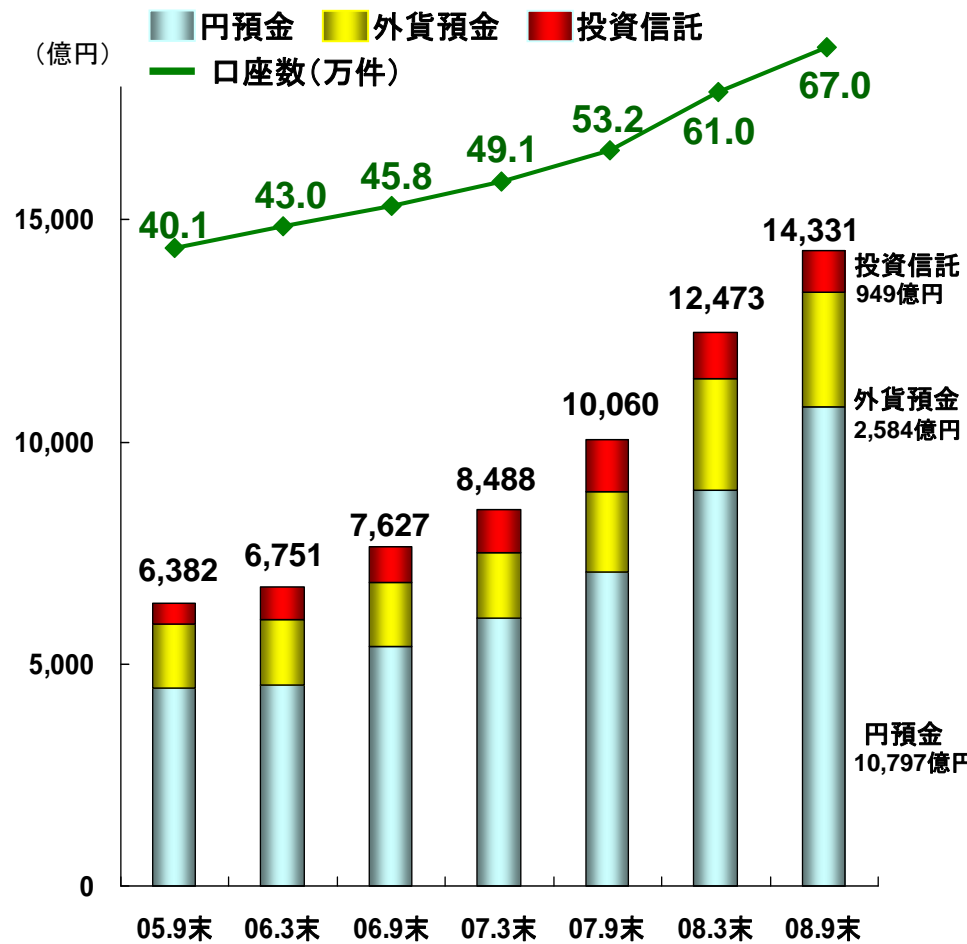
(単位: 億円)

	07.9末	08.3末	08.9末	対前年度末比	
				増減額・数	増減率
預り資産残高	10,060	12,473	<b>14,331</b>	+1,858	+14.9%
預金	8,884	11,443	<b>13,382</b>	+1,938	+16.9%
円預金	7,088	8,926	<b>10,797</b>	+1,870	+21.0%
外貨預金	1,796	2,517	<b>2,584</b>	+67	+2.7%
投資信託	1,176	1,029	<b>949</b>	▲79	▲7.8%
貸出金残高	3,191	3,470	<b>4,000</b>	+529	+15.3%
住宅ローン	3,114	3,388	<b>3,915</b>	+526	+15.5%
その他	76	81	<b>84</b>	+3	+3.8%
口座数	53.2万件	61.0万件	<b>67.0万件</b>	+6.0万件	+9.8%

金額は億円未満切捨て、増減率は四捨五入で表示

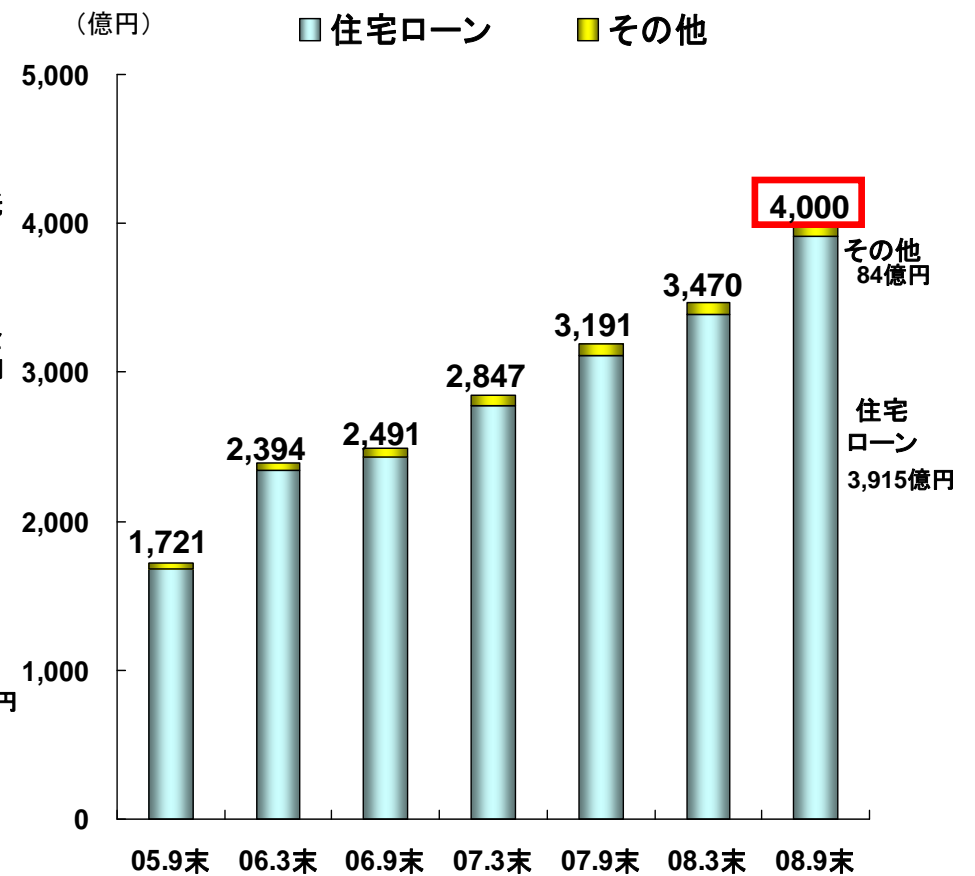
# ソニー銀行の業績(1)

## 預り資産残高(預金+投資信託)及び口座数



金額は億円未満切捨て、件数は千件未満切捨て

## 貸出金残高

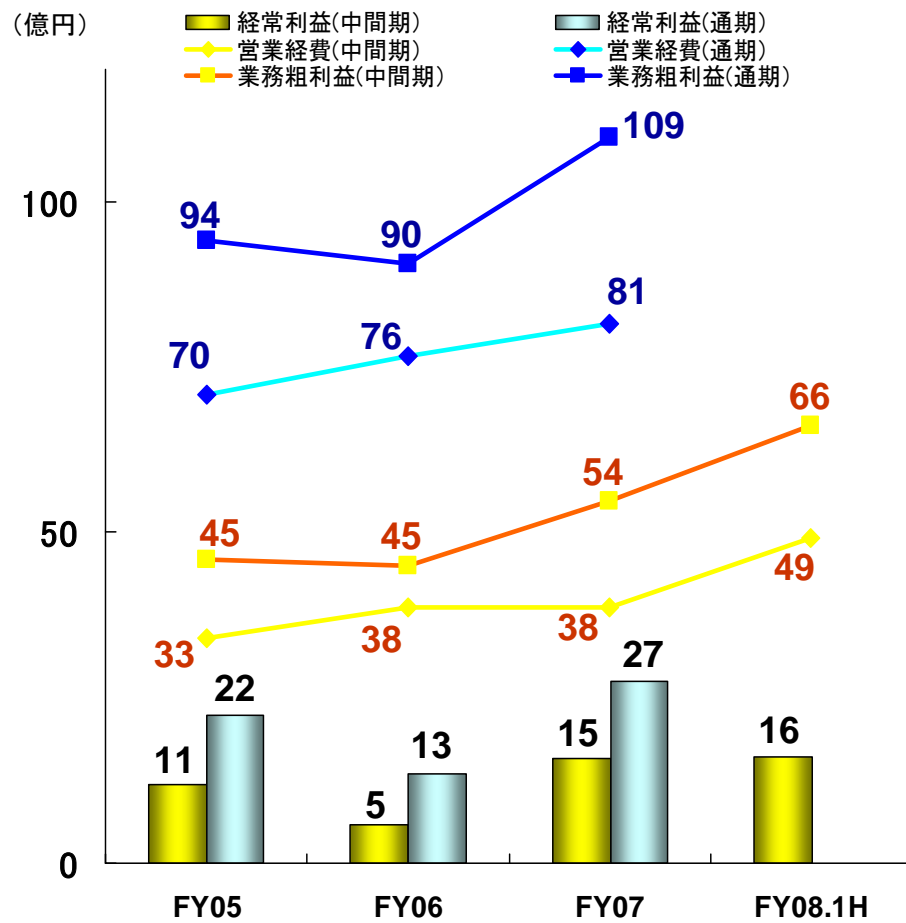


金額は億円未満切捨て



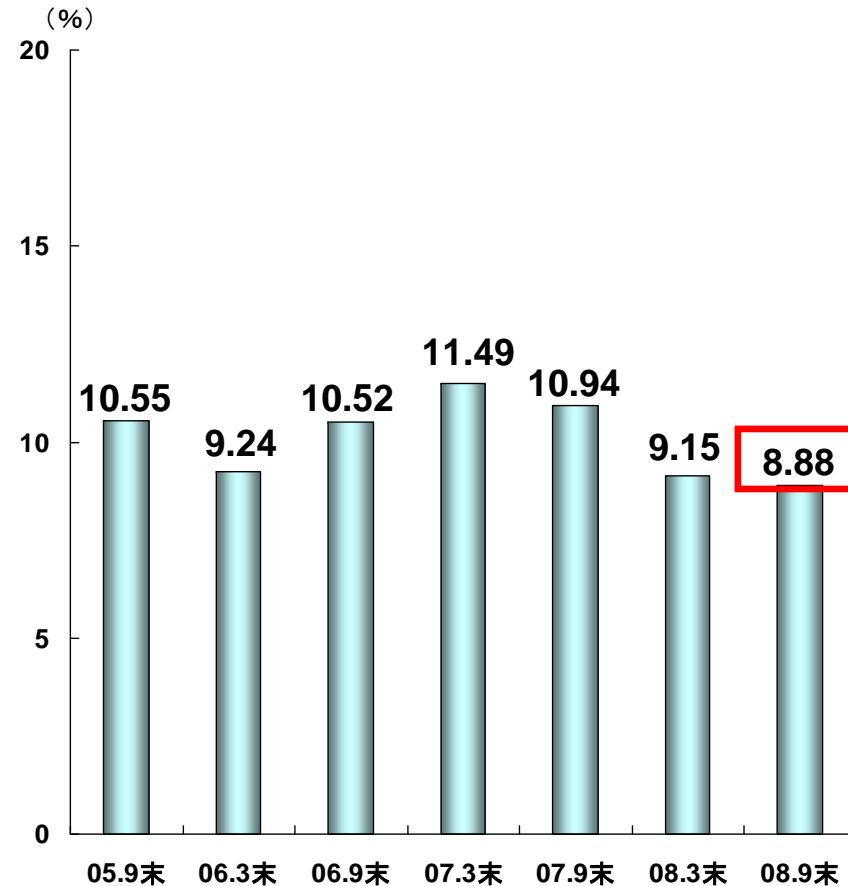
# ソニー銀行の業績(2)

## 業務粗利益・営業経費・経常利益



金額は億円未満切捨て

## 自己資本比率(国内基準) 単体



\*2006年度末以降は、「銀行法第14条の2の規定に基づき、銀行がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準を定める件」(平成18年金融庁告示第19号)所定の基準に基づき、算出しています。2006年度中間期末までは旧告示所定の基準により算出しております。

# FY08通期連結業績予想

(単位: 億円 / 実績値の金額は億円未満切捨て、増減率は四捨五入で表示)

	FY04	FY05	FY06	FY07	FY08 (通期予想)	増減率 FY07 vs FY08(通期)
<b>連結経常収益</b>	<b>6,532</b>	<b>7,587</b>	<b>7,592</b>	<b>8,221</b>	<b>8,840</b>	<b>+ 7.5%</b>
うち生命保険事業	6,042	6,966	6,898	7,413	7,930	+ 7.0%
うち損害保険事業	381	457	510	556	598⇒607	+ 9.2%
うち銀行事業	113	172	194	259	330⇒335	+ 1.5%
<b>連結経常利益</b>	<b>122</b>	<b>253</b>	<b>183</b>	<b>445</b>	<b>370</b>	<b>▲16.9%</b>
うち生命保険事業	171	243	148	390	340	▲13.0%
うち損害保険事業	▲28	▲7	20	28	13⇒21	▲25.0%
うち銀行事業	▲16	22	13	24	20⇒14	▲30.0%
<b>連結当期純利益</b>	<b>63</b>	<b>115</b>	<b>100</b>	<b>242</b>	<b>210</b>	<b>▲13.4%</b>

## <補足>

各事業ともに、業容が順調に拡大し、経常収益は増収を見込む。ただし、経常利益については、主に下記の要因により減益を見込む。

### ■生命保険事業

一般勘定運用利回りは、前年度を下回る見込み

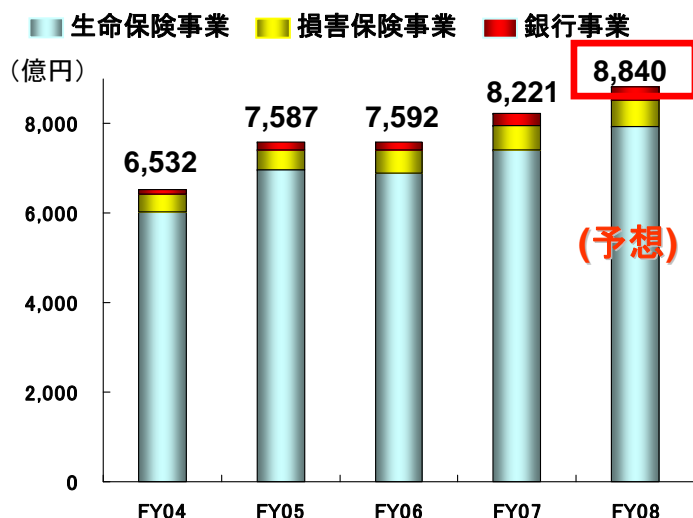
### ■損害保険事業

システム関連費用の増加などにより事業費率が上昇

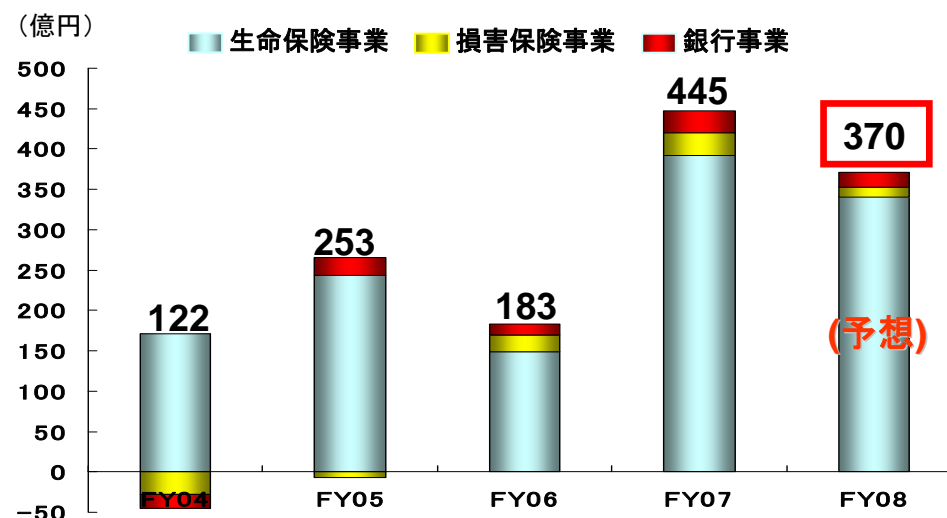
### ■銀行事業

システム関連費用などの増加やソニーバンク証券の創業赤字、のれん償却等

## 連結経常収益



## 連結経常利益



# 補足資料

# 2008年度第2四半期以降の主な取り組み



- 7月1日 ソニー損保、札幌事故受付サービスセンターの新設
- 7月30日 ソニー銀行、液晶テレビ“BRAVIA<ブラビア>”搭載の情報配信機能「アプリキャスト」を通じたソニーバンク外国為替レートの配信を開始
- 8月1日 ソニー銀行、セブン銀行との銀行代理業務提携を開始
- 8月4日 ソニー銀行、投資信託販売手数料体系の改定と「積み立てプラン」販売手数料還元制度を開始
- 8月18日 ソニー銀行、外国為替証拠金取引アプリ版」の提供開始
- 9月8日 ソニー銀行、株式会社大京リアルドとの提携住宅ローン取り扱い開始
- 10月1日 SFH、(株)格付投資情報センターより、発行体格付け「AA-」を取得
- // ソニー生命、北京駐在員事務所開設
- // ソニー生命、診断書取得費用の一部負担取り扱い開始
- 10月2日 ソニー生命、「無解約返戻金型平準定期保険・無解約返戻金型平準定期保険特約」の販売開始
- 10月13日 ソニー銀行、ソニーバンク証券との「資金スweepサービス」開始
- 10月14日 ソニー銀行、(株)日本格付研究所より長期優先債務格付け「AA-」の格付けを取得
- 10月20日 ソニー銀行、LANsとのローソンATM利用提携開始
- 10月29日 ソニー銀行、円と米ドルで支払いができる「2通貨決済機能付クレジットカード」取り扱い開始
- 11月1日 ソニー生命、徳島県に支社を新設
- 11月4日 ソニー銀行、イーネットとのコンビニATM利用提携開始
- 11月12日 SFH、ソニー銀行の株主割当増資(60億円)引受け実施

# ソニー(株)連結の金融分野との会計処理の比較 (日米会計基準における損益面の主な差異について)



\*SFH=ソニーフィナンシャルホールディングス(株)

	ソニー(株)連結の金融分野 (米国会計基準準拠)	SFH* 連結 (日本の会計基準準拠)
新契約獲得費用の取扱い (主に生命保険事業)	新規保険契約の獲得に関連し、かつそれに応じて変動する費用のうち、保険契約期間中に回収できると認められるものについては繰り延べ。	発生年度の期間費用として処理。
責任準備金(保険契約債務)の算定方法 (主に生命保険事業)	米国会計基準に準拠した保険数理上の諸数値に基づく平準純保険料式により計算。	金融庁の認める方式により算定。契約者保護の観点を重視し、早期に責任準備金の積立を充実させる考え方にに基づき算定。
保有する転換社債の時価評価の取扱い (主に生命保険事業)	デリバティブを組込んだ「複合金融商品」として、公正価額変動(時価の変動額)をP/L(損益計算書)において損益計上。	公正価額変動をB/S(貸借対照表)の純資産の増減として計上。

(注1) 日米会計基準の差異に係る上記の項目は、2008年度中間期のSFHの連結経常利益において、大きな差異が生じると考えられるものです。

(注2) ソニー(株)連結の金融分野とSFH連結とでは、連結業績の対象範囲が以下の通り異なります。

- ・ソニー(株)連結の金融分野(参考): SFH、ソニー生命保険(株)、ソニー損害保険(株)、ソニー銀行(株)、ソニーライフ・エイゴン・プランニング(株)、(株)ソニーファイナンスインターナショナル等
- ・SFH連結: ソニー生命保険(株)、ソニー損害保険(株)、ソニー銀行(株)、ソニーバンク証券(株)、Sony Life Insurance (Philippines) Corporation、ソニーライフ・エイゴン・プランニング(株)

(注3) 保有する転換社債(CB)が株式に転換された場合、米国の会計処理では転換日の株式の市場価格で簿価を認識するのに対して、日本の会計処理ではCBの取得価額を転換後も簿価として引継ぎます。そのため、CBを転換して取得した株式について認識される、売却損益額(売却価額と簿価の差額) および減損額(時価と簿価の差額)が、結果的に異なります。



**お問い合わせ先:**

ソニーフィナンシャルホールディングス株式会社 広報・IR部

TEL: 03-5785-1074

ソニー生命保険株式会社 広報部

TEL: 03-3475-8813

ソニー損害保険株式会社 広報部

TEL: 03-5744-0330

ソニー銀行株式会社 経営企画部 広報担当

TEL: 03-6230-5903

※グループ連結の決算・業績などに関するお問合せはソニーフィナンシャルホールディングスへ、一般および報道関係からの方からの  
お問合せで、個別各社の事業に関する場合は各社広報窓口までお願いいたします